

# 飲食・宿泊業者を応援する スタンプカードや誘客事業

上島町総務課危機管理室・商工観光課

## 柑橘栽培・造船業が盛んな瀬戸内海の島

大小さまざまな有人七島、無人一八島で構成される上島町は、愛媛県北東部の広島県境に位置しており、北は広島県尾道市、南は愛媛県今治市に接しています。町の産業は、瀬戸内海の気候や環境を生かした農業・漁業、古くからの造船業を中心に展開しています。特に柑橘類の栽培が盛んで、とてものおんびりとした、豊かな資源に恵まれた町です。人口は六五五九人（令和二年七月末日現在）で、高齢化にもない年々減少傾向にあります。

## 飲食店の利用を促進するスタンプカード事業

令和二年一月、国内初の感染事例が確認されて以降、瞬く間に全国的な広がりを見せている新型コロナウイルス感

染症に対して、本町では各種イベントの中止・延期、公共施設の利用禁止、来島自粛の呼びかけ、住民への不要不急の外出自粛要請などの感染拡大防止対策を講じてまいりました。

幸いなことに、上島町での感染者は確認されておりません（八月末時点）が、島外からの観光客や飲食店利用者の減少、地域内外における交流機会の消失などが、町内の経済活動に多大な影響をおよぼしています。

コロナの影響で特に経営が厳しくなっているのは飲食店です。そこで、上島町（企画・調整・予算化）、上島町商工会（協賛・商品券交換窓口）、上島町観光協会（スタンプカード制作）の三機関が連携し、スタンプカード事業「かみじまエール」を実施しています。これは、飲食店の利用五〇〇円ごとにスタンプを一つカードに押ししてもらい、二〇個貯まったら



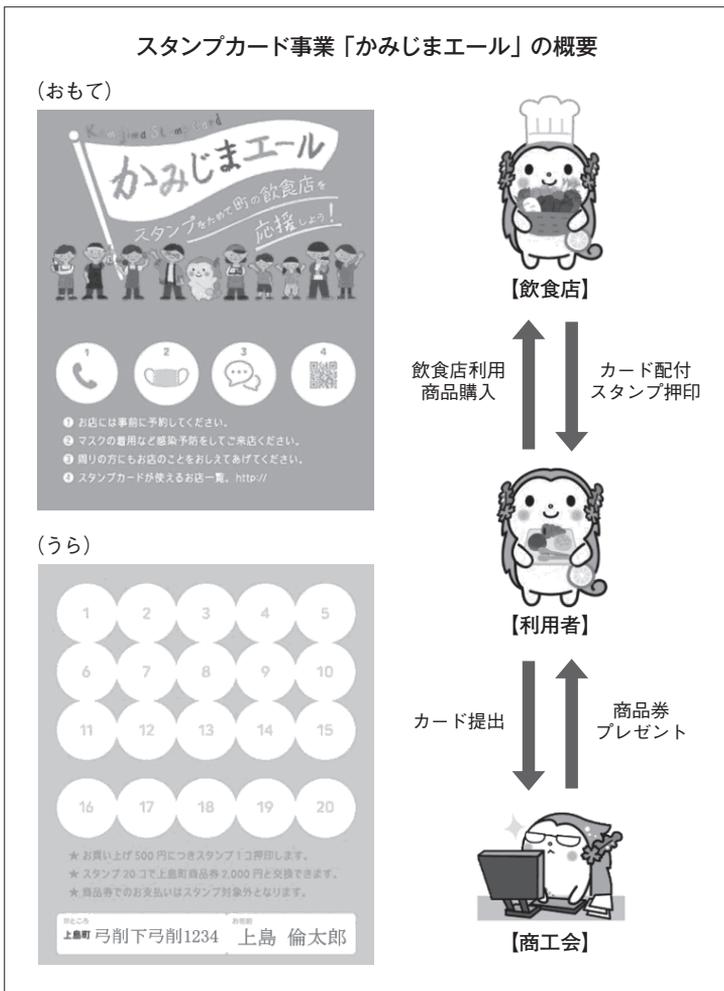
町内で使える商品券(二〇〇〇円分)と交換できるという仕組みです。

飲食店で使った金額の二割相当が商品券として返ってくるお得な内容で、飲食店の利用促進に留まらず、地域住民に対する生活支援、そして商品券の利用による他の商店などへの経済波及効果が期待できる事業として、事業者や住民の皆さんから好評をいただいています。また、このスタンプカードは住民以外の方も使うことができます。

### 宿泊費の助成で島の観光を下支え

町では、宿泊予約者に対する宿泊の延期やキャンセルの依頼など、感染症拡大防止にご協力いただいた宿泊事業者に対し、一施設につき最大一〇万円の「宿泊延期等協力金」を支給しました。県が実施している同様の協力金は、五月一日〜三十一日のキャンセルを対象としています。が、町で

は四月一日〜三〇日のキャンセルを対象としました。この協力金は、町内の宿泊事業者からの要望により実現したもので、各事業者から多くの申請をいただいております。経営支援の一助になっていると思われれます。



また、町内の宿泊事業者の支援のひとつとして、一般旅行者を対象とした宿泊料金の割引を行なう上島町宿泊事業者応援事業「かみじま応援割」を開始しました。これは、本年八月一日から来年二月二十八日までの期間中、上島町に観光でお泊まりいただく方を対象（註）に、一人一泊五〇〇〇円を限

度に宿泊料金の二分の一を町が負担するものです。この制度は、対象宿泊施設が「かみじま応援割プラン」などの旅行商品を造成し、割引価格で販売する仕組みとなっているため、利用者による申請の必要はありません。お得な価格で手間なくお泊まりいただけるので、ぜひ本制度を利用して上島町にお越しいただければと思います。

このほか国や県の融資制度などはもちろん、町独自の給付金なども実施しております。また今秋には、国が提唱する新しい生活様式を取り入れた新ビジネス（キッチンカーの移動販売、アウトドア事業など。上限二〇〇万円）、イベント（屋外小規模イベントやマルシェ、自由散策型、屋外上映会など。上限五〇万円）、自然や産業を活かした体験プログラム（上限五〇万円）



役場の窓口ではビニールカーテンの設置や消毒の徹底などの感染拡大防止策を実施している。



船員の体温チェックなど健康管理も重要。立石港務所にて。

などコロナ禍でも継続可能な新事業に挑戦する団体や法人、個人事業者などを対象とした「上島町新事業応援助成金」の支給がはじまります。新しい観光・ビジネスのスタイルを町として構築していけるよう、官民一体となって町づくりを推進していきます。

※註：九月五日現在、割引の対象は四国四県、中国地方五県、大分県、宮崎県在住者に限っている。

## 島の日常が戻る日まで

「第一波」と呼ばれる感染拡大時期から、感染症対策の実施と経済活動の活性化の両者をどうバランスよく実践していくのが課題とされてきました。全域が離島である上島



しま山100選の積善山(岩城島)。例年、桜の季節には多くの観光客が訪れる。



のんびりとした島時間が流れる古民家ゲストハウス汐見の家。

町の場合、医療体制に限りがあることや、重症化リスクが高いとされる高齢者が多いことなどから、本土の自治体と比較して、住民の生命を守るため、より慎重な対応が求められています。

収束の目途が立たない未知のウイルスに対して、多くの不安や心配の声を聞きます。こうした状況であるからこそ、国・県・市町・事業者が一体となつて行なう経済支援など

には、住民生活を支える重要な役割があると思います。

積善山(岩城島)の三千本桜を楽しむ観光客であふれる春、たくさんのサイクリストが海風と島の新緑を感じに訪れる五月の連休、海水浴やキャンプでにぎわう夏、帰省する家族との大切な時間を過ごすお盆やお正月——あたりまえだったそんな上島町の日常が必ず戻ってくる信じ、関係機関との団結を強めながら、これからも感染症対策・経済支援などに取り組んでまいります。